

積雪寒冷地における任務遂行能力を向上



第742号
平成30年2月28日

方面總監要望事項
よく考えて、
前へ!

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面總監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae>



冬季部隊練成訓練最盛期

北部方面隊（總監 田浦陸将）の各部隊は、平成29年度冬季積雪地部隊練成訓練及び冬季訓練検閲を、道内各演習場等において実施している。

その目的は、冬季の特性を踏まえあらゆる困難な状況を克服し、積雪寒冷地における各級指揮官の指揮、部隊の基本的行動及び隊員基礎動作の練度向上を図ることである。

一年の内、半年近くを雪の中で生活する北海道であるからこそ、季節に左右されず、過酷な気象条件下においても事態に処処できる訓練練度を保持しなければならない。

このため各部隊は、それぞれの特性に応じ、スキー行進、アイスプロックを使った陣地の構築、雪上車による偵察、ヘリコプターによるスリング及びリペリング、通信線の構成、火砲の実弾射撃等、厳冬の練成訓練を実施し、隊員及び部隊の冬季における訓練練度を

向上させた。各部隊は、この時期各地で行われている冬季イベント協力も訓練の一環ととらえ、工夫を凝らした練成訓練計画を作成し、着実に冬季の作戦戦闘能力を高めている。



雪の中警戒する隊員（第25普通科連隊）



雪の中での築城（第27普通科連隊）



戦車の突撃（第71戦車連隊）



雪上車による曳行スキー（北部方面總監部付隊）



スキー行進（第10普通科連隊）

極寒のニセコに各部隊長等が集結

平成29年度新渡道訓練



アキオ曳行訓練



極寒の一夜を過ごすイグルーを製作

北部方面隊は、北部方面混成団長（井上1佐）を担任官として、平成30年1月17日から18日の間、ニセコ訓練場において、平成29年度新渡道訓練を実施した。

本訓練は、北海道において初めて勤務する将官訓練では、スキー技術、かんじき歩行、雪崩遭難

者救出、冬季偽装、天幕展開、イグルー・雪洞製作、積雪地での小銃射撃要領、曳行スキー、アキオ曳行、重装備でのスキー機動を実習したほか、飯ごうで飯と豚汁を調理し、極寒のなか雪洞で一夜を明かした。



年頭の辞を述べる總監



北部方面航空隊年初編隊飛行

北部方面總監は、平成30年1月12日、北部方面航空隊（隊長 廣瀬1佐）が実施する北部方面航空隊年初編隊飛行訓練を視察するとともに、札幌上空から道内全隊員に対し年頭の辞を述べた。

訓練に先立ち、丘珠駐屯地において訓練開始式が行われ、北部方面航空隊長が、「各部隊はこれまで培った練度を遺憾なく発揮してほしい」と訓示した。

その後、丘珠駐屯地より飛び立ったヘリコプターの編隊は、總監を乗せ札幌市上空を大きく旋回するように飛行した。

總監は、機内より、「新たな体制の原動力となる諸官が、今まで以上に高い練度と即応性を保持し、北部方面隊一丸となって、日本国民そして道民の負託に応えるべく、よく考えて、前へ！」進化したこと

總監「年頭の辞」

札幌市上空より、方面隊全隊員へ

總監は、引き続き北部方面航空隊の訓練を視察するとともに、上空より市街地及びその周辺地域を視察し、道民の安心と安全を願った。

道内各地で冬季イベントに協力



さっぽろ雪まつり (大通り8丁目会場)



旭川冬まつり (石狩川旭橋河畔会場)



心を込めて制作 (第11特科隊)



極寒の中雪をこねる隊員 (第2特科連隊)



ダンプによる雪運搬 (北部方面輸送隊)



匠の技を駆使 (第4普通科連隊)

方面隊隷下各部隊は冬本番を迎え、第69回さっぽろ雪まつり、第59回旭川冬まつり等、道内各地で開催された冬季イベントにおいて、雪像制作、音楽演奏等の部外行事協力を実施した。

雪像等の制作は、1月初旬から開始され、厳しい気象条件のなか、昼夜を問わず制作にあたり、その長短はあるものの約1カ月間に渡って実施された。

この間、各協力担任部隊は、雪像制作を戦と捉え、指揮幕僚活動及び隊員の基礎動作等、冬季作戦遂行能力の向上を目的とする各種取り組みを実践した。

制作期間中、イベント主催者、協力諸団体関係者、地域住民等、多くの方々の慰問・激励をいただき、制作に携わった隊員は、心からのもてなしに感謝し、イベントの成功を祈りつつ任務に邁進することができた。各部隊の制作した雪像等は各

地の冬のイベントの目玉として、その運営に多大な貢献をした。また、開催期間中には、開会式、雪像引き渡し式、国際雪像コンクール表彰式等で音楽隊や太鼓同好会が音楽演奏会を行ない、それぞれの祭りを大いに盛り上げた。

協力に参加した隊員は、「地域の方々とふれあいを通じて、自衛隊に対する期待の大きさと地域との一体感を感じ得る貴重な機会となりました」と任務を完遂した喜びにひたっていた。

日本北部の守りのために陸海空の力を結集 北部地域自衛隊指揮官会議



10式戦車の試乗



札幌雪まつり研修



記念撮影
前列左から：城殿空将、山之上陸将、中西海将、田浦陸将

北部方面隊は、平成30年2月8日及び9日、札幌駐屯地及び北千歳駐屯地において北部地域自衛隊指揮官会議を開催し、実施した。

本会議は、北海道東北に所在する陸海・空自衛隊の指揮官の意思疎通を図ることを目的としており、北部方面隊監、東北方面隊監(山之上陸将)、大湊地方総監(中西海将)、北部航空方面隊司令官(城殿空将)及び各最先任上級曹長等が一同に会した。

8日、北千歳駐屯地に移動し、札幌駐屯地に指揮官会議を実施し、北部地域における連携調整事項等についての発表・普安交換等を実施した。

9日は、札幌雪まつり会場を訪れ、陸上自衛隊が制作した大雪像や広報ブースを研修し、北海道における陸上自衛隊の重要性を認識していただいた。

北部方面隊は、平成30年2月8日及び9日、札幌駐屯地及び北千歳駐屯地において北部地域自衛隊指揮官会議を開催し、実施した。

その後、札幌駐屯地に移動し、総監部において指揮官会議を実施し、北部地域における連携調整事項等についての発表・普安交換等を実施した。

9日は、札幌雪まつり会場を訪れ、陸上自衛隊が制作した大雪像や広報ブースを研修し、北海道における陸上自衛隊の重要性を認識していただいた。

美幌・丘珠・帯広・南恵庭駐屯地業務隊が第2級賞状を受賞

平成29年度業務隊等に対する陸上幕僚長表彰

平成29年度業務隊等に対する陸上幕僚長表彰式が平成30年1月17日、市ヶ谷駐屯地（東京都新宿区）において行われ、北部方面隊から、美幌駐屯地業務隊（隊長 菅沼2佐）、丘珠駐屯地業務隊（隊長 川口2佐）、帯広駐屯地業務隊（隊長 河木1佐）、南恵庭駐屯地業務隊（隊長 藤本2佐）が受賞した。

本表彰は、部隊の任務遂行に対する運用支援基盤の強化を積極的に推進して功績が顕著であった業務隊等に対して、陸上幕僚長から授与されるものである。

美幌駐屯地業務隊は、老朽施設の維持管理に努め、隊員の勤務環境の改善及び駐屯地所在部隊の即応性向上に寄与した功績が評価された。

丘珠駐屯地業務隊は、平素から緊急登庁支援、油流出対処訓練、災害対処訓練等、部隊の特性に応じた訓練を実施して、その任務遂行能力を向上した功績が評価された。

帯広駐屯地業務隊は、北部方面隊総合戦場、訓練場の管理について、使用部隊を積極的に支援して方面隊の隊務運営に寄与した功績が評価された。

南恵庭駐屯地業務隊は、平成28年度の第3施設団改編に伴う改編の際、各施設の修繕工事による職住一体化施策を推進し駐屯地所在部隊の服務態勢の充実に寄与した功績が評価された。



受賞者記念撮影（下段中央：陸上幕僚長）



美幌駐屯地業務隊長 菅沼2佐
 丘珠駐屯地業務隊長 川口2佐
 帯広駐屯地業務隊長 河木1佐
 南恵庭駐屯地業務隊長 藤本2佐

平成29年度防衛省共済組合 本部長表彰等

平成29年12月5日、平成29年度防衛省共済組合本部長表彰式がグランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）において行われ、滝川支部（支部長 西川2佐）及び鹿追支部（支部長 橋本2佐）が受賞した。

本表彰は、福利厚生施策を積極的に推進して、防衛省共済組合業務の的確な運営に寄与した功績が顕著であった支部に対して、授与されるものである。

滝川支部は、特定健康診査等の受診率向上施策として、各部隊長に対する周知、該当者に対する個別案内、受診状況の定期的な確認を積極的にを行い、高い受診率の維持を達成した功績が評価された。

鹿追支部は、貯金の利用促進施策として、駐屯地内への横断幕掲示、厚生ニュース、更には隊内放送による広報を積極的に行うとともに、駐屯地外の宿舎地区掲示板への厚生ニュースの掲示により、前年度を大きく上回る貯金額を達成したことが評価された。また、12月7日、北部方面隊幹部（札幌駐屯地）において、統括支部長表彰式を実施し、真駒内支部（支部長 成澤1佐、俱知安支部 支部長 内山田2佐）及び静

内支部（支部長 石橋2佐）が表彰された。

真駒内支部は、庁内託児所の札幌市認可保育園としての認定・運営などの功績。俱知安支部は、隊員クラブ・売店での創意ある企画による売上げ向上などの功績。静内支部は、静内対空射撃場地区でのジーンズスカンコーナーの開設による隊員サービスの向上などの功績がそれぞれ評価された。



本部長表彰受賞者記念写真



総括支部長表彰式



本部長表彰式

平成29年度オピニオンリーダー活動

旭川冬まつり雪像制作研修

北部方面隊は、平成30年2月1日、方面隊オピニオンリーダー活動として、旭川冬まつり会場において雪像制作研修を行った。本研修には、第6期の河野明美氏と第7期の瀧本峰男氏が参加し、第2特科連隊の雪像制作現場及び旭川駐屯地に隣接する北鎮記念館を研修した。

本研修は、オピニオンリーダーの方々に冬季イベント協力を通じて、部隊・隊員の任務遂行能力向上に資する取り組みを理解していただくとともに、地域への貢献について確認いただくことを目的に、今年度は旭川冬まつり会場で行った。

当初、冬まつり会場に設置された説明会場において、雪像制作隊長（第2特科連隊第4大隊長 古瀬2佐）による、冬まつりの概要、雪像制作の経過等の説明が行われ、オピニオンリーダーの方々は熱心に耳を傾け多くの質問がされる等、オピニオンリーダーの雪像制作隊への関心の高さが伺えた。

説明会後の会場研修で完成間近の巨大雪像に登り、その大きさを実感するとともに、100mの水の滑り台を試滑りして、その完成度と安全性を体感した。また、本研修間メイン大雪像のデザインを担当した旭川市在住のデザイナーあべみちこ氏（第2師団オピニオンリーダー）と行動を共にして意見交換するなど、充実した研修となった。

引き続き、北鎮記念館を研修し、屯田兵及び旧陸軍第七師団等の約2500点に上る史料を、専門職員の詳しい説明により研修することができた。「旭川冬まつりや北鎮記念館に初めて来た」とができました。また、2師団のオピニオンリーダーとも交流でき貴重な機会を得られました」との声を聞いた。

北部方面隊は、これからもオピニオンリーダーの方々に、自衛隊の活動に対する理解の一助となる機会を設けていく。



雪像制作を研修



北鎮記念館研修



今月の一枚

あかしや読者の皆様こんにちは。今年も早いもので、もう2月です。2月と言えば、「節分」です。各季節の始まりの日の前日（2月4日）です。「立春」（2月4日）です。一般的に、節分には、どのご家庭でも子供たちが「鬼は外、福は内」と、鬼に扮したお父さんめがけて福豆を撒いて厄除けを行います。家族のため昼間は職場で上司に厳しく指導され、夜は家庭で子供に豆をぶつけられ、一家の大黒柱は大変ですね。そんなお父さんにも楽しい出来事があるのもこの2月です。そう、「バレンタインデー」です。子供の頃、学校で友達と何個貰ったかを競い合ったことを思い出します。今では保険会社の担当さんから義理チョコを貰うだけ寂しいものです。さて、暦の上では「立春」。雪で閉ざされた北海道にも、チョコが貰えないお父さんにも、もうすぐ雪解けの季節がやって来ます。季節の変わり目に体調を崩すことなく、残雪訓練に汗を流し、最も強く、最も頼もしい北部方面隊を目指して努力しましょう。

編集後記

北部方面隊写真コンクール

ノーザンアーミーフォトコンテスト 2017

最優秀賞



「堂々たる翼」 北部方面航空隊 1等陸曹 高塩 達哉

北部方面隊は、平成29年11月28日、総監部において、平成29年度北部方面隊写真コンクールに伴う表彰式を実施した。

本写真コンクールは、各部隊等の活動写真を評価及び表彰する場を設定し、部内外に広く紹介して、北部方面隊の隊員としての更なる誇りと自信の獲得、士気の高揚を図り、併せて写真撮影技術と投稿意欲の向上を図ることを目的として今年度から実施した。

応募総数は463作品にのぼり、写真に対する熱意が感じられた。受賞作品の選考にあたっては、プロカメラマンである宮嶋茂樹氏による評価等、厳正な審査により選考された。

どの写真もレベルが高く、選考は難しいものとなったが、最優秀賞1点、

優秀賞3点、佳作6点、特別賞3点が決定した。受賞作品は、平成29年北部方面隊カレンダーに撮影者の所属・階級・氏名を掲載し使用されている。なお、カレンダーは方面隊ホームページ(下記アドレス)において確認できるとともに、ダウンロードも可能となっている。

北部方面隊ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae>



表彰式 (北部方面航空隊 高塩 1曹)

優秀賞 3作品



「家路」 第2師団司令部付隊 陸曹長 類瀬 明義



「闘牛」 第2通信大隊 2等陸曹 大谷 弘樹



「水面の戦士」 第2偵察隊 2等陸曹 十役 恭平

佳作 6作品



「灼熱の潜入訓練」 第2対舟艇対戦車中隊 2等陸尉 高橋 忠照



「走れ!」 第3普通科連隊 陸曹長 吉川 孝文



「追跡」 第2通信大隊 2等陸曹 大谷 弘樹



「前進」 第11通信隊 2等陸曹 山崎 俊治



「流星」 第1特科団 2等陸曹 石山 貴視



「白銀」 第2偵察隊 2等陸曹 十役 恭平

特別賞 3作品



「疾風」 第2師団司令部付隊 陸曹長 類瀬 明義



「暁」 北部方面航空隊 1等陸曹 小林 利幸



「黄昏」 第2通信大隊 2等陸曹 大谷 弘樹